

冬の天気と聞かれてイメージするのは「どんよりした雲と雪」、「晴れて乾燥した冷たい風」のどちらですか？大まかに分けると日本海側は「どんよりした雲と雪」、太平洋側が「晴れて乾燥した冷たい風」だともいえます。今回は冬の太平洋側によく現れる「空気の乾燥」についてお伝えしたいとおもいます。冬場に太平洋側で空気が乾燥する原因は、おもに冬型の気圧配置にあります。日本海で発達した雪雲が、奥羽山脈や飛騨山脈などの高い山にぶつかり、雪を降らせません。雪が降った後の空気が山を越えて乾燥して太平洋側に流れ込むのです。空気が「乾燥している」「湿っている」は、空気が目一杯含むことが出来る水蒸気量に対して、どのくらいの割合の水蒸気が含まれているかを、湿度としてあらわすことができます。気象庁がアメダスで観測している湿度は、電気式湿度計を用いていて、湿度の違いによってコンデンサの静電容量が変化することで測定しています。この湿度は、正確には「相対湿度」と呼びます。普通の晴れた日ですと、最高気温が観測される午後2時から3時頃に、最小湿度を観測することが多くなります。気温が高いほど、空気中に水分を多く含むことができるためです。もちろん雨が降り続けば、一日を通して湿度100%ということもありますし、雨が上がった後に乾いた空気が流れ込み、夜に最小湿度を観測することもあります。もう一つ湿度を表すものに「実効湿度」があります。実

行湿度は、木材がどのくらい乾燥しているかを表す指標です。数日前からの湿度を考慮して計算されます。つまり当日同じ相対湿度でも前日に雨が降った日より、乾燥した日が続いた日の方が実効湿度の数値が低くなります。乾燥注意報は、「最小湿度」と「実効湿度」の両方を用いて発表されます。乾燥注意報は、地域ごとに発表基準が異なり、例えば東京は、最小湿度25%で実効湿度50%です。札幌は、最小湿度30%で実効湿度60%と、東京の方が低い数値で乾燥注意報が発表されます。それでも、昨シーズンの冬(2021年12月～2022年2月)は、乾燥注意報が発表されていた日数は、東京は54日、札幌は0日でした。空気が乾燥すると、火災が起きやすくなります。さらに風が強いと火が広がりやすくなります。ほかにも、喉の粘膜の防御機能が低くなるため、インフルエンザなどの感染症にかかりやすくなるといわれます。火の取り扱いには十分注意し、室内では加湿器などを使って適度な湿度を保ち、乾燥する冬場を乗り切りましょう。



<https://tenki.jp/> 日本気象協会 牧 良幸

団体会員	アイエスカンパニー	社団法人くらしのリサーチセンター	株式会社グリーンキャブ
	住友電設株式会社	大成建設株式会社	大成設備株式会社
	株式会社丹青社	第一交通産業株式会社	株式会社ダイエーコンサルタンツ
	東海旅客鉄道株式会社	西日本鉄道株式会社	公益社団法人日本観光振興協会中部支部
	日本空港ビルディング株式会社	広島電鉄株式会社	

編集後記：11月7日は立冬。翌日8日は皆既月食が起こった。皆既月食は、東京では夕方18時09分に欠け始め、食の最大が19時59分、満月に戻るのが21時49分。■月の部分食の間に、天王星が月の影に隠れる潜入が生じ、天王星食が起こる。潜入開始20時41分、出現21時22分。■皆既月食と惑星の食が同時に起こるのは、前回は1580年7月26日の土星食、次回が2344年7月26日の同じく土星。■さて、10月30日に決着がついたプロ野球日本シリーズ。初戦の勝利、2戦目の幸運な引き分けとヤクルト・スワローズが優勢と思われたが、オリックス・バファローズの4連勝で、26年ぶりの日本一となった。■11月3日付の日経新聞スポーツ欄に、権藤 博が執筆する「悠々球論」が掲載された。この「悠々球論」は、権藤が担当する前は「チェンジアップ」と称し、西鉄ライオンズにいた豊田泰光が執筆していた。2016年8月14日豊田が亡くなる直前まで続き、足掛け16年に及んだ。■スワローズとバファローズが戦う日本シリーズは、昨年と同じ組み合わせ。権藤は書いている。「両チームとも、連続で日本一になるほど強くもなかったし、連敗するほど弱くもなかった。力だけでなく、発展途上という点でも両者はよく似ている。」■さらに、両軍の監督、スワローズ高津臣吾1968年・バファローズ中嶋聡1969年生れと、同世代である。なお、高津は広島県出身。スワローズに入団時、横手投げの先発投手として期待された。しかし、制球はよいが勝負球がなく、目立たなかった。■1992年、野村克也監督に「150km/hの腕の振りで100km/hの遅いシンカーを投げてみる」と助言され実現。米国メジャー、台湾・韓国プロ野球、日本の独立リーグまで経験。NBP・MLB通算300セーブを達成。2017年スワローズ2軍監督、2020年から1軍監督。■一方、中嶋は秋田県鷹巣(たかのす)出身の捕手。強肩で現役時「メジャーリーグに一番近い捕手」といわれたと言う。(杉)

特定非営利活動法人《NPO》

JAPAN NOW

観光情報協会

東京都港区東麻布 1-27-3
〒106-0044
電話 03(5989)0902
FAX 03(5989)0903
E-mail info@japannow.org
<https://www.japannow.org/>

発行人：寺前 秀一
編集長：杉 行夫

主な配布先：会員、中央官庁、地方自治体、民間企業、マスコミなど



世界文化遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群 (写真：筑前大島 中津宮)
2017年の世界遺産登録登録で認知度が上がるまで、宗像市田島に鎮座する「辺津宮」のみが宗像大社と呼ばれることも多かったが、沖ノ島の沖津宮、筑前大島の中津宮、宗像市田島の辺津宮(総社)の三社の総称が宗像大社。筑前大島の沖津宮通拝所(風津宮)、辺津宮から11km離れた中津宮、更に49km離れた沖津宮は直線にある。記紀に由緒が記された日本最古の神社である。古代から大陸・半島との海上路であったことから海上交通の守護神として信仰されてきた。写真提供：福岡県観光

- P1 - インバウンド期待への複雑な感情
- P2 - 時刻表にみる駅のサービスマーク②
- P3 - アメリカこぼれ話 81 / COLUMN
- P4 - NEW SPOT
- P5 - 大地と大気の交差点とこの街ツアー
- P6 - 産業遺産情報センター / NPOへの提案～
- P7 - 世界遺産「モヘンジョダロ」/ 奈良まほろば館
- P8 - 気象と天気 / 編集後記

インバウンド期待への複雑な感情

JAPAN NOW 観光情報協会 理事長 寺前 秀一

原稿執筆時点で対ドル149円と、32年ぶりの円安が報道され、総理や前総理がインバウンド振興を例に挙げ政策を主張している。インバウンド振興がメディアや多くの識者に好意的に受け止められるであろうという政治的意図があるからである。しかし円高がyen appreciationと訳された時代を知る者の一人としては、複雑な思いをもって受け止めている。

観光の語源は「易経」にあるとされている。その易の仕組みからすると「六四 観国之光 利用賓于王」の「観」の意味は、六四(大臣の位)が九五(剛健中正の徳のある王者)を「仰ぎ見る」ということになる。『易』(本田清著 朝日選書1997年)は「卦辞の観はしめすの意で去声に読むが、爻辞の観は平声、見るである。卦辞は九五の側から発言しているので、各爻から言えば、九五を見るのである」と記述している。しかし、どういうわけか『新漢和辞典』(学習研究社1978年)の「観光は①よその土地の文化・風俗・風景などを見物してまわる。②国威を外にしめす。「易経」観卦の「観国之光、利用賓于王＝国の光りを観しめす、もつて王に賓たるに利よるし」から」の記述例にみられるように、後述する鉄道省の影響を受けた解説が多くみられる。この解説を孫引きした観光学の教科書、事典が多く出回っており、個人的には学会できちんと整理すべきではないかと思っている。なお、国の光りの「国」が現代の国家概念でなく越境概念であることは昔から日本人は理解しており、鉄道省は駅名に両国を使用する。現代でも国際観光統計では、香港や台湾との間の移動を、国際とはいいながら越境概念を元に整理する場合が多い。

研究者が対象とする学術用語としての字句「観光」とは異なり、法令用語、行政組織名としての字句「観光」は、勅令による国際観光局名の実質上の命名者である鉄道省(形式的には内閣)が易経から引用したとする

のであれば、理解の仕方がどうあれ易経が語源となる。このことは内閣が定める元号と同じである。他に説明可能な文献があるにしても、子供の名前と同じで命名者の意図が優先し、議論をしても仕方がない。

では何故鉄道省は易経をもとに命名したとしたのであろうか。まずその時代背景を理解しておかなければならない。当時、海軍軍縮条約批准が最大の政局であり、艦船建造に必要な鋼鉄輸入に必要な外貨獲得が最大の政策として、商工省に貿易局が設置された。絹、茶等に続く外貨獲得の順位5位の外客観光収入の担当官庁を巡り、戦費支出の結果巨額の対外債務に苦しんでいる日本財政の中で、唯一黒字会計であった帝国鉄道特別会計が狙われた。鉄道省は、職員給与削減等で次官以外の全員の辞職騒動でもめていたから、江木翼大臣は寿命を縮めるなかで引き受けざるを得なかった。このときの鉄道省幹部は外貨獲得のための国際観光行政は「人の中着を盗むようで恥ずかしい」と率直な感想を述べている。彼らは漢文の素養があったはずであるが、あえて国の光りを見に行く(アウトバウンド)を、国の光りを見せる(インバウンド)という意味に転用したと推測される。なお、当時の外客数でも華人が半数を占めており(韓人、台湾人は国内移動としてあつかわれた)、現在の訪日外客数(中国、香港、台湾で約5割、韓国を含めれば四分の三)とあまり変わりはないのではと思われるが、相変わらずインバウンド論の中で占めるのは欧米を念頭に置いた舶来思想がはびこっており、ドル高円安論もその延長上にある。巷の経済論議にみられる外貨獲得論も大いなる理解不足に基づいている。外国為替特別会計には巨額のドル資金が滞留しており、また国際通貨として円での貿易取引も認められている。日本としてドルを確保しなければ取引ができないというようなことではない。

第一次安倍内閣時、教育基本法に続き成立した観光立国推進基本法は、それまでの旧観光基本法が目的にしていた外貨獲得理念を捨てて、国、地域の誇りを目的にしたのである。従って、現内閣が円安を奇貨としてインバウンド政策を推進するという説明には、国力の衰えを感じざるを得ないのである。

時刻表にみる駅のサービスマーク②

「弁当販売駅」「弁」 JR 東海顧問 須田 寛

駅のサービスマークのはじまりは大正 11 年発行の洗面所所在駅を示す「洗」(前述)と駅弁販売駅を示す「弁」のふたつでした。上のように難しい当時の漢字を略字で示す「弁」の説明が時刻表凡例らんに掲載されています。「弁」というのは当時の略字をデザイン文字としたものです。このマークの意味する「駅弁販売駅」はホーム等改札内で「駅弁」が買えることでした。

当時の客車は窓が自由に開閉でき主要駅では荷扱等もあってどの列車も数分の停車時間があつたので、車窓から立売りの駅弁を直接買えるかどうかを示すことにこのマークの意味があつたと考えられます。



戦前の鉄道では旅行客がこのマークを見て購入駅を考え、予め現金を用意して列車停車時間中に座席に座ったままでホームを巡回してくる駅弁屋さんから車窓を通して直接買うのが「駅弁」のもっとも一般的な入手方法でした。このため列車の停車時間がどれだけあるか、又どのような弁当があるのかを事前に知っておく必要があり、時刻表は旅行中食事をする旅行者にとって重要な情報源だったので。従って時刻ページのらん外には駅ごとに弁当種類の案内が売価と共に掲載されるようになりました。

戦後一時期らん外の弁当種類案内にも特別なサービスマークのついていた時期があります。時刻表を眺め、この「弁」マークの駅で売る各種の弁当からの地域の味を思い出し、時刻表空想旅行にふける人も多かったと聞きます。コンピューターによる映像文化普及以前では時刻表はこのような人々の旅心に応える役割も果していたのです。そして「駅弁」は旅の風物詩としても大きな存在でありました。

東京沼津間でこの「弁」マークのある駅は大正 12 年当時は、横浜・大船・国府津・山北・沼津の 5 駅しかありません(国府津・山北は機関車の取替え・給水等で停車時間がながいことによる)戦前の国鉄営業最盛期だった昭和 15 年をみるとこれに品川・小田原が追加されて 7 駅となっています。



しかし 不思議なことに東京駅には「弁」のマークは戦前にはつきませんでした。これは前述のように「駅弁」は旅行中に



車窓から買うということにその楽しみがあり、始発駅で駅食堂もあることから駅弁を買って乗車する慣行がなかったのです。



戦後になって「弁」マークが東京等始発駅にもついたので、駅弁復活当時はまだ食糧事情が悪く「米」も配給制で長距離客のため「等外米」という配給ルートに乗らない米を使う等して個数も限定して販売したため中間駅での立売りも復活が遅れ、始発駅で入手する必要があつたためでした。現在は駅ビル、デパチカ等駅内の食堂や弁当販売店も多く、各種弁当の販売も盛んです。従ってそれらと駅弁の区別もつかなくなり又、区別の必要性もなくなったためこのマークは時刻表からみられなくなりました。 写真提供:交通新聞社

世界遺産物語 謎の多いモヘンジョダロ遺構

エッセイスト 近藤 節夫



モヘンジョダロ古代遺跡の重層化された井戸

今夏大洪水に見舞われた世界文化遺産モヘンジョダロが、9月には史上最悪の大洪水に襲われ国土の1/3が浸水し、都市遺跡が大きく損壊した。

モヘンジョダロは、現地の言葉で「死の丘」を意味し、現地人も近寄りたがたい謎の多い古代都市国家である。パキスタン南部の大河インダス沿岸に繁栄した世界 4 大文明のひとつで、今日に残る遺跡の勃興期は、紀元前 2500 年から同 1800 年ごろと言われ、往時には 4 万人の人々が住んでいた。

この大河インダス流域では古来よりその恩恵を受けながらも、度々大洪水に浸食され、遺跡が損壊され、今日残っている遺跡は繁栄期のそれに比べると大分規模は小さい。しかし、この遺跡が他の古代都市と奇跡的に異なるのは、過去に 7 度もインダス川の大洪水により滅んだ都市遺跡の上に新たな都市を築いて、珍しく遺跡自体が重層構造となっていることである。重層の井戸などは、大きな煙突のように現在の地上より高いまま残っている。最下層の遺跡より下の部分には、更に昔の都市が埋まっている可能性もあると考えられている。

自然災害により昔の都市がその姿を失いつつある中で、現存する遺跡には必見の価値がある。その先進的都市計画は、現代の建築家も舌を巻く測量など高い技術水準が窺える。街は整然と区画整理され、今日の世界的大都市ですら充分整備されていない下水道や、汚水処理施設などが完備されていたことが分かっている。現在残された広い遺跡群は、昔の都市計画及び道路区画が整然と行われた結果、都市の形状を今に留めている。

この世界遺産の素晴らしいことは、普通なら価値ある古代遺跡と言え、そう簡単に身体で直に触れることはできないが、ここでは廃墟へ入り込み古代都市の狭い路地を歩きながら直接古代史に手で触れて実感できることである。過去と未来を宇宙的スケールで考えさせられる謎多き貴重な世界遺産である。

「奈良まほろば館」

奈良県アンテナショップ



新橋に移転した奈良県アンテナショップ

奈良県のアンテナショップ「奈良まほろば館」をご紹介したのが 3 年程前、開館 10 年を迎えた日本橋を訪問しました。その後、昨年 8 月新橋に奈良県ブランドショップとして移転・リニューアルオープンし、奈良の魅力を発信しています。移転先は、東京メトロ銀座線「新橋駅」1 番出口・JR 新橋駅銀座口より歩いて約 3 分。SMBC 新橋ビル 1F・2F にあります。



1F 店内

1F は奈良の特産品の販売がされており、人気 No.1 は柿の葉寿司です。Cafe & Bar では「かき氷の聖地」奈良の、季節に合わせて奈良の食材で彩ったかき氷を一年中楽しめます。炙った柿の葉寿司 4 個(鯖・鮭)と三輪そうめん



炙り柿の葉寿司セット

に本日のスイーツがついた炙り柿の葉寿司セットのほか、奈良の日本酒や、クラフトビールも気軽にお楽しみいただけます。 11月4日(金)~12月1日(木)まで「伝えたい奈良のこだわり」~美味しい飯(メシ)を食べたい!と題し、東京ではあまり知られていない逸品を求めて、バイヤーが奈良県内各地をくまなく回って見つけた、より一層ご飯が進むご飯のお供を販売しています。

また観光案内コーナーがあり、奈良を知り尽くした観光コンシェルジュが平日は 12:00 ~ 17:30、土日祝は 12:00 ~ 18:00 に旬の奈良の情報をご案内しています。

2F は「TOKi」(Restaurant&Bar)があります。奈良の生産者と連携して、奈良直送の食材を用いた料理で奈良の魅力を体感していただけます。

イベントルームでは、講座や展示、ワークショップなどのイベントを定期的に開催し、深く奈良を知ることができます。

NPOへの提案 2100年のアフリカ

人流観光研究所長 寺前 秀一

アフリカ大陸は巨大な大陸である。インドはアフリカの角程度ではない。コロナ禍、ヴァーチャル旅行でアフリカを訪問して気が付いた。



現在日本は人口大国である。しかし1938年厚生省設立時に人口問題研究所が行った予測では、20世紀末に人口1億2千万人をピークに減少する。時期を別にすれば、ほとんど現在でも変化はない。それほど人口予測とは正確に行える。表は

<https://fumib.net/future-population/>に掲載されている資料を基に作成した。2100年の人口予測を国別に行った結果であるが、大きな予測の変化は発生せず、日本の人口を上回る国はアフリカ大陸では20か国にも上ることとなる。経済成長の理由を人口ボーナス論に求めるならば、アフリカでの高度経済成長が大いに期待できる。

人口予測の単位となっている時間は、欧州列強によるアフリカの植民地時代と等しい短い時間である。当初インドやアジアへの交易拠点として、南アフリカの両岸にポルトガル領と南端にオランダ領があるだけであった。この時代、アフリカからの輸出品である奴隷と象牙は現地人が売っているものを購入すればよく、植民地は必要なかった。1880年の時点で、フランスがアルジェリア、セネガル、コンゴに植民地を経営し始めた程度であり、多くの現地人王国が残されていた。フランスが植民地で、綿花、カカオ、落花生のプランテーション経営を開始し、南アフリカで、ダイヤモンドと金鉱が発見され、イギリスがオランダ植民地を乗っ取ったのち、欧州列強が植民地争奪戦を始める。1913年(第一次世界大戦直前)にはエチオピア王国を除いて、全アフリカがヨーロッパの植民地に分割された。背景にあるのは、ヨーロッパの工業化に伴うアフリカの豊かな鉱物資源の採掘と、ヤシ油、ゴム等の工業原料生産のためのプランテーション経営である。今日これらの行為は帝国主義として否定的評価がなされている。第2次世界大戦後も、チャーチルやドゴールは植民地解放に消極的であったが、共産主義国との冷戦構造の中であって、1960年代から1970年代にかけてアフリカ諸国が相次いで政治的に独立した。人口ボーナス論が正しければ次に経済的独立が果たされることとなる。

順位	国	2100年	2050年	2020年	順位	国	2100年	2050年	2020年
		人口(億)	人口(億)	人口(億)			人口(億)	人口(億)	人口(億)
1	インド	14.5	16.2	13.8	18	ウガンダ	1.4	0.9	0.5
2	中国	10.6	14.3	14.4	19	ロシア	1.3	1.4	1.9
3	ナイジェリア	7.3	4.0	2.1	20	ケニア	1.3	0.9	0.5
4	アメリカ	4.9	4.3	3.7	21	モザンビーク	1.2	0.7	0.3
5	パキスタン	4.0	3.4	2.2	23	マダガスカル	1.0	0.5	0.3
6	コンゴ民主共和国	3.6	1.9	0.9	26	コートジボワール	1.0	0.5	0.3
7	インドネシア	3.2	3.3	2.7	27	カメルーン	0.9	0.5	0.3
8	エチオピア	2.9	2.1	1.1	28	トルコ	0.9	1.0	0.8
9	タンザニア	2.9	1.3	0.6	29	ブルキナファソ	0.8	0.4	0.2
10	エジプト	2.2	1.6	1.0	30	ザンビア	0.8	0.4	0.2
11	アンゴラ	1.9	0.8	0.3	31	マリ	0.8	0.4	0.2
12	ブラジル	1.8	2.3	2.1	32	南アフリカ共和国	0.8	0.8	0.6
13	ニジェール	1.6	0.7	0.2	33	ガーナ	0.8	0.5	0.3
14	バングラデシュ	1.5	1.9	1.6	34	イギリス	0.8	0.7	0.7
15	フィリピン	1.5	1.4	1.1	35	ソマリア	0.8	0.3	0.2
16	スウェーデン	1.4	0.8	0.4	36	日本	0.7	1.1	1.3
17	メキシコ	1.4	1.6	1.3	注	灰色はアフリカ大陸所在国			

産業遺産情報センター

小田急電鉄(株)特別社友 利光 國夫

先般新宿区若松町に開設された「産業遺産情報センター」を訪問してきた。ここは明治日本の産業革命遺産を製鉄、製鋼、造船、石炭産業に大別して8県11市に所在する23の資産で構成されている。

施設内の展示スペースは導入展示、メイン展示、資料室の3つのゾーンに分かれているが、各ゾーンともかなり内容が豊富でじっくり見ていくとかなり時間がかかり、私のような高齢者には体力的にもかなりきついで、何回かに分けて訪問するのが良いのかもしれない。ちなみに入場は無料である。

明治においての日本の近代産業の勃興は世界史上においても特筆すべきものであることをこのセンターを見学して再認識させられた。

そもそも近代産業の先進国である欧米列強の植民地支配をうけることなく徳川幕府の鎖国政策に安住していた日本は、西洋科学にほぼ門戸を閉ざしていたのだが、19世紀半ば突如ペリー率いる米国艦隊に開国を迫られることとなり、多くの混乱と犠牲を経た「明治維新」の結果「明治新政府」による近代国家の礎が築かれた。

東洋の一島国が自らの意志と努力で短期間に近代産業国家を作り上げる過程においては「負」の側面もあったと思われるが、総じてみれば先人たちの努力がまことに敬服に値するものであることがこの情報センターを見学して改めて痛感させられた。皆さんも機会があれば是非とも訪問されることをお勧めしたい。

なお今回の訪問は石炭産業のコーナーでガイドを務めている友人の案内によるもので、長崎の端島炭鉱、通称「軍艦島」で子供時代家族で何年も生活したことのある人だが、韓国がここをかつて朝鮮人が強制労働されたところだと称して「地獄島」と称して反日宣伝の道具としていることに怒り、当時の実態はまったく異なることを知ってもらいたいとの強い思いから80歳を超えて自らボランティア活動をしているのである。

戦前の日本の歴史を否定的にしか見ないいわゆる「自虐史観」といわれるものを打破するためにも、ひとりでも多くの方々がこのセンターを訪問してもらいたいものである。

第176回観光立国セミナー開催のお知らせ

第176回観光立国セミナーを
12月6日(火)12:00より開催いたします

- 場所 MFPR 渋谷ビル PIM 4階会議室にて
- 要事前予約
- 講師: 中村 逸郎氏(筑波大学名誉教授)
- 演題: 「ロシアの多様な文化を旅する」
- 参加費: 会員/1,000円 一般/2,000円 ※昼食(弁当)付き

アメリカごぼれ話 81 「キング牧師とマルコムX」



前列左: キング牧師 前列右: マルコムX

元JTB取締役 北村 嵩

黒人運動の二大指導者であるキング牧師とマルコムX。二人はほぼ同時代を生き、1950~60年代の黒人公権運動に大きな役割を果たしたが、人種問題の解決方法は対照的であった。そもそも彼らは若き日の生活環境や宗教などが大きく違う。キングは白人穏健派との共闘を目指す人種統合論であったが、マルコムは黒人と白人と一緒に暮らさない完全な分離主義を唱えた(後に考えを変えた)。

キングもマルコムも父親は聖職者であったが、キングの父は裕福な教会員に支えられた教会の牧師で豊かな家庭に育まれたが、マルコムの父は教会に所属せずパートタイムで説教をする説教師だった。マルコムが5歳の時に死別し一家は生活保護を受け、一家離散した。キングは成績優秀で高校、大学を卒業後神学校に入り総代で卒業した。一方マルコムは素行が悪く少年院送りとなり15歳で世に出たがアンダーグラウンドの世界にのめり込み1946年に麻薬使用や強盗容疑で逮捕され刑務所に入れられた。マルコム21歳であった。

1954年キングはアラバマ州モントゴメリーの教会に着任した。翌55年にこの町で黒人女性ローザ・パークスがバスに座っていた席を白人に譲るよう運転手に指示されたが拒否し、裁判になった。黒人の活動家を中心にバスボイコット運動が組織されキングが指導者に指名された。キングはガンディの唱えた非暴力を訴えて運動を成功させ、有名となった。

一方、マルコムは刑務所で通信教育を受け、図書館を利用し

COLUMN きんぼし きんぼし 金星から銀星へ

♪きんぎんぎらぎら 夕日が沈む きんぎんぎらぎら 日が沈む〜♪
夏の夜空に輝く(金)星を見上げ、虫の声を聞きながら夕涼みをしていた幼いころが懐かしい。スポーツや勝負事の世界では、弱者が強者を倒して大番狂わせが演じられると、勝った弱者のチーム(選手)が「金星を獲った」と称賛される。中でも大相撲界では、この「金星」に強いこだわりがあり、「金星」は長く相撲史に残り、昇給の材料ともなり、場所ごとにいくつかの価値ある「金星」が生まれる。そこには一定の条件があった。大相撲では、平幕力士が横綱に「初」挑戦し勝利を得た時にのみ、勝ち名乗りをあげた平幕力士が「金星」を獲得したとされていた。誰もが新鮮で爽やかな気持ちになり、そこには弱者を褒めたたえ、よくぞやったとの激励の気持ちが表れている。それは平幕力士にとっても大きな励みにも、名誉にもなっている。

ところが、近年相撲協会は、いつのまにか2度目以降の戦でも平幕力士が横綱を倒せば、勝った平幕が「金星」を得たと認めているようだ。相撲界が「金星」の大安売りを始め、「金星」が激増したのである。結果的に、それが「金星」の価

勉強した。獄中で兄弟姉が宗教団体、ネーション・オブ・イスラム(NOI)に入会していることを知り、27歳で仮釈放されてすぐにNOIに入会。ブラックモスLEM「マルコムX」として活動を始める。NOIの教義は基本的には、白人とは別に黒人だけの国や地域に住むことを理想としている。当時のNOIの指導者イライジャ・ムハマドに心酔したマルコムはイスラム教の勉強をし、布教活動での雄弁を認められニューヨークのハーレムでブラックモスLEMの指導者として積極的な活動を行い有名になり多くの黒人のイスラム教徒の信者を獲得した。

キングはその後も黒人差別が厳しいアラバマ州で不条理な法に対して市民的不服従と非暴力直接行動で大掛かりな運動を組織したが、当局は高圧ホースや警察犬でデモ隊を蹴散らしキングは逮捕・投獄された。これらの状況がマスコミに大々的に報道され、ケネディー大統領の介入もあって人種分離は改善の方向に向かい、63年8月にワシントンでの公民権運動の大集会で白人を含む25万人の前で有名な「私には夢がある」の演説を行った。

マルコムは公民権運動に関心を示したがNOIは街頭での行動を禁止しており、これに不満を抱いた彼はNOIを離れてメッカ巡礼の旅に出た。そこで出会ったイスラム教徒には白人も多く、白人非難一辺倒の考えを改めた。IOM等は彼を裏切者として付け狙った。



ワシントンで演説するキング牧師

違った方法で公民権運動を進めようとした二人は64年、公民権法案審議中に一度だけ連邦議会で出会い挨拶を交わしたが、正式な会見は実現しなかった。マルコムが65年2月にハーレムで暗殺されてしまい、キングは68年8月にメンフィスで狙撃されて亡くなった。

ことによって、当然のことながら「金星」が増え、「金星」の新鮮さが失われ、有難さも薄れ、ついに同じ横綱からいくつもの「金星」を稼ぐベテラン平幕力士まで現れるようになった。本来の新鮮な「金星」が「銀星」へ格落ちしてしまったのだ。ついに先の秋場所では「金星」に値しない首を傾げるような疑似「金星」が続出した。

中でも不審に思ったのは、平幕高安関が横綱照ノ富士を破ったケースである。NHKアナも興奮気味に「高安、勝った!金星!」と、まるで高安が鬼の首でも取ったかのように大げさな表現をしていた。しかし、考えてみるに、高安は今こそ平幕力士の地位に甘んじているが、かつては大関として活躍し、大関高安対平幕照ノ富士という今とは逆の立場の対戦もあった。対戦成績も、高安が13勝12敗で上回っている。これで平幕高安が横綱照ノ富士を破ったからと言って「金星!」「金星!」と大騒ぎしたところで、本来の「金星」の意に合っているだろうか。かつてのように「金星」とは、若く未熟な平幕力士が初対面で番付最高位の横綱を破る、予想もしなかった大番狂わせが起きた時にこそ、ぴったりの言葉ではないだろうか。

エッセイスト 近藤 節夫

孀恋ポンペイ



天明の浅間大噴火で埋没をまぬかれた現孀恋村の鎌原観音堂

キャベツの生産で知られる群馬県孀恋村が2022年7月、イタリア南部のポンペイ市と友好都市協定を結んだ。ポンペイは西暦79年のベスビオ山噴火で埋没した遺跡で世界的に知られ、孀恋村は江戸中後期1783(天明3)年の浅間山大噴火で埋もれた鎌原地区(旧鎌原村)があり「日本のポンペイ」と呼ばれる。火山災害で集落を飲み込まれた共通の歴史を持つ両市村は、40年ほど前にイタリア文化財省のポンペイ遺跡担当者らが鎌原を訪ねて以来、地域の子どもたち同士で絵を交換するなど交流を続けてきた。このたび孀恋の熊川栄村長、土屋幸雄議長ら4人がイタリアを訪ね、市庁舎でカルミネ・ロ・サピオ市長、マリオ・エスタティエーコ議長と調印した。協定は相互訪問、文化、観光などの交流PR、さまざまな分野の人的交流に努めることが盛り込まれ、大惨事後世に伝えていく。「日本のポンペイ」と呼ばれる地域は全国に複数あるが、村は今回の締結を機に、鎌原を象徴する固有の名称に定着することを目指す。

孀恋は天明の犠牲者を悼む240回忌を迎える。浅間山北麓の鎌原は広大な村で宿場町として賑わっていた。「天明の

浅間焼け」と呼ばれる噴火は3カ月ほど続き8月5日(旧暦7月8日)午前10時ころの大爆発は、岩石を含んだ土石なだれが時速100キロ以上の猛スピードで、噴火からわずか7分で村を襲ったという。村発行の旅マガジン「Tsumatabi」最近号によると、村民570人の8割以上、477人の命が奪われた。家屋118戸、馬165頭が流失の情報もある。高台にあった観音堂は奇跡的に唯一の建物として残り、そこに駆け上った人たち93人だけが助かった。近隣の大笹宿の名主、黒岩長左衛門や千川小兵衛らが被災者を供養しながら救援に尽力し、村の再建に努めた。生き残った人びとは親子兄弟みんなバラバラになったが、長左衛門は「血のつながった一族だと思わなければいけない」と「家族の再生」を進めた。当時集落の中で家族や素性で差別があった農民らの、その垣根を外し、夫を亡くした妻と妻を失った夫を再婚させたり、子供を亡くした親と孤児を親子として結ばせたり、93人全員を一族としてつなぎ「再生」した。

1979年から総合調査で、埋没集落や家屋のほか、観音堂下に埋まった石段(写真の赤い橋の下)から女性の遺体が見つかった。村営「孀恋郷土資料館」は発掘出土品を収録し特産キャベツの歴史やエピソード紹介も含め23年春にリニューアルオープンの予定。村内の「鬼押し出し園」は溶岩が作った奇岩群が自然の恐怖を思い起こさせる。さらに下流の長野原町など吾妻川から利根川へ至る流域も、近年のハッ場ダム建設に伴う水没地域の発掘調査で広範囲に村落が発見され、2021年開館した同町「やんば天明泥流ミュージアム」は死者1,500人以上という被害の全貌を展示し、往時の村々の長閑(のどか)な風景や人びとの暮らしを今によみがえらせる。



浅間山を望む孀恋村「愛妻の丘」の広大なキャベツ畑

写真・文 林 莊祐



山なみが似る浅間山(左、手前は鬼押し出し、2022年10月)とベスビオ山(手前はポンペイ遺跡、2005年11月写す)

日本列島は大地と大気の交差点

～森高千里「この街ツアー」考察～

NHK インターナショナル専門委員 田阪 友隆

NHK 報道カメラマンとして北は北海道から南は沖縄まで災害現場の最前線に立ち続けてきましたが、改めて日本は世界有数の災害多発地帯だと噛みしめています。図の1・2をご覧ください。日本列島は、まさに「大地と大気の交差点」です。◎「大地の交差点」-北米プレートなど4つのプレートが押し合う複雑な動きが地震・津波を引き起こし火山活動も活発になります。



図1 ユーラシアプレートなど4つのプレートが日本列島で衝突している

◎「大気の交差点」- 寒気・暖気・熱帯気団が次々に現れ集中豪雨、台風、豪雪などで毎年のように災害が引き起こされます。

こうしたあらゆるタイプの自然災害が起きるところは地球儀をぐるりと回してもユーラシア大陸の東端、日本列島しかありません。この「大地と大気の交差点」は、陰陽二面があります。陰の面が災害とすれば、陽の面が豊かな自然の恵みです。ぶつかり合うプレートによってできた複雑な地形。そこから生み出される海・山・川の美しい景観。繰り返し発生し入れ

大気の交差点

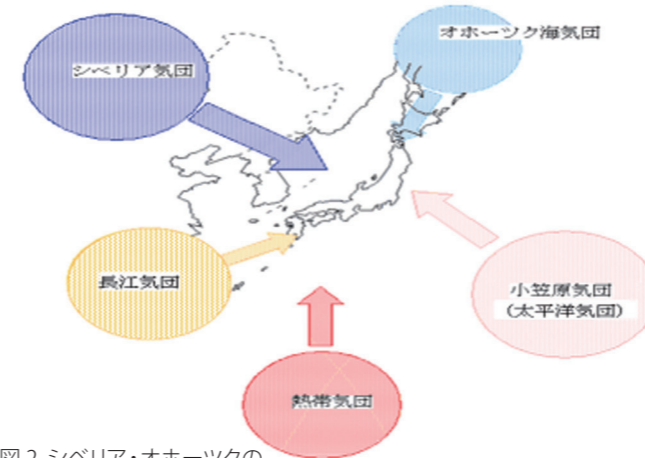


図2 シベリア・オホーツクの寒気団、長江・小笠原の暖気団、熱帯気団(台風)が次々に入れ替わる

替わる気団によって、四季ごとに現れる美しい風景。そして、何よりも食べ物!日本列島、どこにも、その土地独特の美味しいものがあります。これこそが「大地と大気の交差点」の最大の恵み、陽の面ではないでしょうか。

音楽でこの陽の面を際立たせている活動があります。森高千里さんの「この街ツアー」です(詳しくは5月号の書評を参照してください)。森高さん自身が名所・旧跡を訪ね、その地方独自の物を食べて、それを演奏とともにMCで紹介しSNSでも発信するというものです。2019年1月の埼玉県狭山から始まり2022年6月の宮崎公演まで足かけ4年間、69か所85公演が行われました。2019年のツアーは「この街が大好きよ」と言うフォトエッセイとして出版されました。もちろん、他のアーティストもコンサートでその町を紹介することはありますが、「ご当地紹介」を演奏とともに2本の柱にすると言うのは「この街ツアー」しかないと思います。強いて言うなら、コンサートと放送番組の違いはありますがNHK「のど自慢」がコンセプトとして近いかもしれません。



森高千里 著書

「この街ツアー」にはもうひとつの特徴があります。それは、開催場所が県庁所在地だけではなく第2、第3、第4の街でも行われたということです。もちろん、東京・大阪のほか、中核都市の札幌・名古屋・福岡でも行われましたが、例えば、秋田県の湯沢・愛知県の新城・広島県の三次など、普通の旅行では、まず行かないようなところ

が開催場所の大半を占めていたことです。私も報道カメラマンと言う仕事柄、いろいろなところへ行っていますが、初めて行った場所が上記三か所の他にも10か所近くもありました。日本列島が「大地と大気の交差点」だからこそ、どの街にもその街にしかない独自性があり、それゆえに「この街ツアー」がどこでも成立するということではないでしょうか。森高さんの「ご当地物紹介」の街歩きはどこでもできるということではないでしょうか。前回も引用させていただきましたが須田顧問の「日本列島はどこでも観光の発着地になりうる」と言うことを音楽の面で実証しているのが「この街ツアー」だと考えます。

※森高千里さんはデビュー35周年を迎え記念コンサート・イベントなどで忙しい日々を送っていて、「続・この街ツアー」の具体計画は今のところありませんが、大いに期待したいところです。

● 本の詳細 URL >> <https://ourage.jp/bookis/218985/>